

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 商工 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小倉山森林公園					
	所在地	日光市所野2848					
指定管理者	名称	八千代エンジニアリング株式会社 関東センター					
	代表者名	センター長 岡田 巧					
	住所	埼玉県さいたま市浦和区岸町7丁目1番7号					
指定期間		令和6年4月1日		～	令和11年3月31日	5年間	
選定方法		非公募		評価実施年		5年間のうち 1年目	
施設設置目的		市民の貴重な財産である小倉山について、森林の持つ多面的機能性を活かし、市民の憩いの場として、及び観光資源として有効活用を図るとともに、地場産業である木工芸及び農林業の活性化に努める。					
主な実施事業		・日光彫を通じた、歴史・文化に関する地場産業の体験提供 ・日光彫に関する展示による郷土文化の発信					

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	日光彫体験利用者数	人	13,650	17,129								
b	日光彫体験利用団体数	件	195	245								
c	来館者数	人	9,850	9,726								
d	利用者満足度	%	70	100								
e	リピート率	%	70	99.4								

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入計	A	51,829,300	0	0	0	0
	指定管理料	22,710,000				
	利用料収入	C				
	事業収入	29,119,300				
	その他					
支出計		B	46,380,395	0	0	0
指定事業費		23,885,291				
	内人件費	D	18,752,825			
	内外部委託費	E	5,132,466			
	事業費	22,495,104				
事業収支		A-B	5,448,905	0	0	0
人件費率		D/B	40.43%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率		E/B	11.07%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

①小中学校に向けた日光彫のパンフレットを作成し、下見・実踏の説明時に配布したことにより、旅行代理店からの問い合わせに迅速に対応できた。また、教育委員会等の学校関係者に配布することで、教員の異動時に施設情報が引き継がれる効果があった。
②東京都内で開催された「日光食と魅力の観光PR商談会」に参加し、日光彫体験について、旅行代理店担当者向けにパンフレットを用いた営業を行った。その結果、複数の旅行代理店とのコネクションを形成することができた。
③日光彫体験の講師経験のある方2名を新たに講師として確保し、日光彫体験の受け入れ体制を強化した。
④切削業者1社、塗装業者2社と協議、調整し、体験用の木地を安定的に調達した。令和6年度は、全体で18,000枚の木地を調達し、多くの体験者を受け入れることができた。
⑤利用機会最大化のため、日光郷土センターとの連携を強化し、個人の日光彫体験利用希望者を日光郷土センターに案内したほか、日光郷土センターで対応できない団体に對して、木彫りの里工芸センターを案内する等、受入人数の最大化を図った。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B	
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
	法令遵守等	外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
		法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
② サービスの 質の 評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	利用者対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	事業運営	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
		避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	維持管理	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B	B
		協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B	
	環境配慮	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B	
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
	③ 安定性	広報活動	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。			B	B	
苦情等対応		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B	
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
利用者アンケート		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
利用状況		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
総括		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
所見 (成果・課題等)		広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。		B	B	
	苦情等対応	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B	
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	A	B	
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
	総括	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)			
		今年度は、木彫りの里工芸センターにおける日光彫体験者人数が目標値を超える17,129名を達成した。目標の達成要因として、「日光彫体験の講師			
		経験のある方2名を新たに講師として確保したことによる受け入れ体制の強化」や、「利用機会最大化のため、日光郷土センターとの連携を強化し、			
		日光郷土センターで対応できない団体に対して、木彫りの里工芸センターを案内する」等の、受入人数の最大化を目的とした取組を行ったことが考えら			
		れる。また、小中学校に向けた日光彫のパンフレットの教育委員会や学校関係者への配布や、東京都内で開催された「日光食の魅力と観光PR商談会」			
		に参加したこと、学校や旅行代理店とのコネクションを形成することができた。			
		(所管課評価)			
		令和6年度においては、各項目において、当初の目標値を達成した。令和7年度においても、各項目における成果指標の達成に向けた普及及び啓発活動			
		の実施や、自主事業の実施等に積極的に尽力されたい。また、施設が老朽化していることから、定期的な点検の実施等、適切な施設の維持管理に努め、			
		懸念事項が発生した場合には、迅速に報告するよう徹底していただきたい。			
前年度総合評価		総合評価	B(良好)		

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。